

議 事 次 第

1. 会長挨拶

皆川会長

2. 議事

(1) 議長選出

(2) 平成29年度経過報告

丸山総務部長

(3) 平成29年度監査報告

菊地・永尾監事

(4) 会則変更の件

丸山総務部長

(5) 新幹事補充の件

丸山総務部長

・平成30年度 新幹事案

増田啓太君（東京都市大学大学院，構造安全研究室）

中村亮太君（東京都市大学大学院，地盤環境研究室）

矢田海有君（東京都市大学大学院，計画マネジメント研究室）

3. 報告事項

(1) 来年度の総会・懇親会

平成31年11月16日（土）に母校で開催

(2) 学生支援会企画 業界研究会 5月～6月頃開催予定

(3) 予算執行状況報告

伊藤総務

(4) 部会活動報告

各部部长

緑土会のホームページは、大学＞校友会＞緑土会で見る事が出来ます。

いろんな企画・情報が満載です。

平成29年度経過報告

期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

平成29年

- 4月 2日〔土〕 東京都市大学入学式〔役員出席〕
- 6月 2日〔金〕 緑土会主催・学生支援会（OB，現役学生，教員：86名参加）
- 6月17日〔土〕 東京都市大学校友会総会〔役員出席〕
- 7月12日〔水〕 幹事会
- 10月20日〔金〕 幹事会
- 11月11日〔土〕 緑土会定期総会・懇親会

各部会委員会の開催（校友会ホームページ＞各科同窓会＞緑土会を参照）

平成30年

- 3月19日〔月〕 学位授与式〔皆川副会長出席・緑土会各賞授与・祝辞〕
学科謝恩会〔役員出席〕
- 3月23日〔金〕 幹事会

緑土会賞授与

- 藤原 竜斗（構造安全・丸山研）
- 横田 渉（構造安全・白旗研）
- 小林 拓矢（地盤環境・末政研）

大学院修士課程修士論文発表会・緑土会優秀発表者表彰

- 田崎 陽介（災害軽減・吉田研）
- 森近 翔伍（構造安全・丸山研）

大学院緑土会国際賞

- 藤本 康生（計画マネジメント・中村研）

平成 29 年度 会計監査報告

平成29年度緑土会決算・監査報告書

		前年度繰越	前年度繰越	前年度繰越		
取入	前年度繰越	5,897,989	5,897,988		経常費分	
	総会等会費	515,000	318,000	197,000	5000円×100名 3000円×5名	
	総会祝い金	50,000	20,000	30,000		
	新入会員会費	500,000	440,000	60,000	5000円×100名	
	定額貯金満期利息	0	0	0		
	普通預金利息	10	7	3		
	校友会支援	300,000	388,000	▲ 88,000	今年度実績の半分程度 【H28年度】 当初:280,000円 追加:333,000円	
	前年度繰越	2,851,751	2,851,751		学術文化等分	
	定額貯金満期利息	0	0	0		
	普通預金利息	0	0	0		
	セミナー経費	500,000	0	500,000	学生支援会も含めて計上	
	学生支援会懇親		144,000	▲ 144,000		
	前年度繰越	1,012,739	1,012,739		名簿会計分	
	計	12,127,488	11,572,485	555,003		
支出	設備備品費	0	0	0		
	消耗品費	140,000	561	139,439		
	人件費	80,000	19,000	41,000		
	通信費	幹事会	3,100	56,900	15000円×4回	
		総会	100,000	218,638	▲ 118,638	
		小計	160,000	221,738	▲ 61,738	
	会合費	代表幹事会	20,000	10,220	9,780	10000円×2回
		幹事会	150,000	8,600	141,400	50000円×3回
		その他	50,000	86,000	▲ 36,000	総務会、部会等
		小計	220,000	104,820	115,180	
	慶弔費	50,000	0	50,000		
	総会費	420,000	398,828	23,172	4000円×105名	
	その他	印刷代	15,000	25,920	▲ 10,920	総会案内往復はがき
		輸送代	5,000	5,000		
		手数料	1,000	848	352	
		小計	21,000	26,568	▲ 5,568	
	設備備品費	5,000	0	5,000		
	消耗品費	15,000	1,985	13,015		
	人件費	寄付講座	70,000	50,000	20,000	技術者倫理
		講師謝礼	50,000	50,000	0	海外建設
		その他	10,000	20,000	▲ 10,000	学生支援会バイト
		小計	130,000	120,000	10,000	
	奨学金	130,000	55,000	75,000	社会基盤施設見学会半額補助	
	セミナー経費等	緑土会セミナー会場費	150,000	150,000	今年度実施なし	
		学生支援会懇親	250,000	210,000	40,000	
		小計	400,000	210,000	190,000	
	緑土会費	60,000	60,000	0		
	その他	3,000	18,131	▲ 15,131	パフォーマンスチャージ代 (学生支援会配布印刷資料)	
	通信費	0	0	0		
	会合費	0	0	0		
	計	1,814,000	1,234,631	579,369		

2018/10/10

監事

菊地孝明



監事

永尾浩一



東京都市大学緑土会 部会の交通費支給に関する内規

平成 29 年度総会で承認された内規

東京都市大学緑土会 部会の交通費支給に関する内規

(部会員が部会に出席した場合の交通費の支給)

第 1 条

部会員が、部会に出席したときは、一律 1,000 円を交通費として支給する。

2 前項の交通費は、部会を主催する部会長からの申請に基づいて支給する。

附則

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

平成 30 年度以降の改定案

東京都市大学緑土会 部会の交通費支給に関する内規

第 1 条

部会員が、部会に出席したときの交通費として、部会ごとに年間 3 万円を交通費として支給する。なお、部会員一人当たりの交通費は一律 1 千円とする。

2 前項の交通費支給対象部会は、広報・校友会部会、組織管理部会、会報・HP 編集部会および学生支援部会とする。

3 前項の各部会長は、年度末に使用状況を報告し、未使用分は返還するものとする。

4 この内規の改廃は幹事会が行う。

附則

この内規は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

平成30年度緑土会予算執行状況

列1	項目	小項目	H30予算	H30年10月31日現在	執行率(%)	備考
収入	前年度繰越	経常費+学術文化基金+名簿	10,262,478	10,262,478	100	旧経常費+旧学術文化基金+旧名簿の合算
	総会等会費		515,000	0	0	男性5000円×100名 女性3000円×5名 (H29実績:男性63名,女性1名)
	総会祝い金		20,000	0	0	
	新入会員会費		575,000	0	0	5000円×115名
	定額貯金満期利息		0	0	0	
	普通預金利息		10	5	50	
	校友会支援		400,000	325,000	81	【H28年度】613,000円 【H29年度】388,000円
	セミナー経費		50,000	0	0	緑土会セミナー(過去の実績値)
	学生支援会懇親		150,000	132,000	88	
	計		11,972,488	10,719,483	90	
支出	設備備品費		5,000	0	0	
	消耗品費		25,000	5,617	22	
	人件費	総会・懇親会	60,000	10,000	17	総会・懇親会バイト代他
		寄付講座	50,000	60,000	120	技術者倫理
		講師謝礼	50,000	50,000	100	海外建設
		その他	20,000	25,000	125	学生支援会バイト代
		小計	180,000	145,000	81	
	通信費	幹事会	60,000	0	0	15000円×4回
		総会	220,000		0	
		小計	280,000	0	0	
	会合費	代表幹事会	20,000	0	0	10000円×2回
		幹事会	150,000	0	0	50000円×3回
		その他	50,000	120,000	240	総務会, 部会等
		小計	220,000	120,000	55	
	慶弔費		20,000	10,000	50	
	総会費		420,000	0	0	4000円×105名
	その他	印刷代	50,000	16,991	34	
		輸送代	5,000		0	
		手数料	1,000	432	43	
		小計	56,000	17,423	31	
	奨学金		110,000		0	社会基盤施設見学会半額補助 (110,000円/2)×2人
	セミナー経費等	緑土会セミナー会場費	150,000		0	
		学生支援会懇親会	250,000	196,500	79	学生支援会主催イベント
		小計	400,000	196,500	49	
	緑土会賞		60,000		0	
	計		1,776,000	494,540	28	
	次年度繰越し		10,196,488	10,224,343		

財務部会 活動計画		
委員会の分掌事項	(1) 財務（会費の徴収事務を含む）に関する事項。 (2) 予算書（案）、決算書（案）に関する事項。 (3) 緑土会各種イベント収入・支出に関する事項。	
委員	部会長：伊藤和也 部 員：菊地孝明，永尾浩一	
2018年度の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容	実施予定
財務に関する事項	会費徴収，支払い，出納簿管理等	随時
予算・決算に関する事項	予算書（案），決算書（案）作成	随時
イベント収入・支出管理	各種イベント関連の収入・支出管理	イベント毎
今後の活動予定（中期的な活動方針）		
2017年度の会計について 収支については，トントンでしたが予算と決算で差異がある費目がいくつかありました。収入では，①緑土会セミナーが開催されなかった，②総会参加者が減少，③新入会員が想定より少なかったこと，等で収入減となりました。支出では，①緑土会セミナーが開催されなかった，②総会費用が抑制（飲み物代減），③消耗品類の購入が少なかった，等で支出減となりました。一方，総会に関係する通信費が予算案の2倍となりました。2017年度予算は通信費を半減する数値目標を掲げて数字を入れていたので，一昨年までの実績とほぼ近いのですが，予算決算の差異となり，支出増の要因となっていることが分かります。		
2018年度の予算執行状況について 収入については，校友会補助費の配分が決定（325,000円）。また，新規会員（卒業生）は109名（×5000円＝54.5万円）であり，今後集金作業を実施する。		
支出については，緑土会総会・懇親会関連，緑土会各賞（6万円）等が予定されている。特に緑土会総会懇親会関連の通信費については，2017年度の緑土会総会ハガキ等の整理・反映を実施（ハガキ記載のメールアドレス，死亡・不達情報の更新）し，メールでの通知とすることを検討。		

広報・校友会部会 (H30) 活動計画

委員会の分掌事項	① 緑土会の代表として校友会活動との連携 ② 緑土会の活動拡大のための広報活動 ③ 各部会との調整およびフォロー 等
委員	部会長：高橋禎夫 副部会長：進藤敏則、松浦弦三郎、 顧問：山田秋夫、 部員：中埜豊、小笠原令和、中山豊彦

H30年度の活動計画および実績

活動項目	活動の目的・実施内容	実績
校友会との連携	校友会との連携により、効率的・効果的な緑土会の活動を行う。 (各委員会、部会等)	3/31 幹事会以降、各種委員会への参画にて、緑土会と校友会のシナジー活性化を図っている。
		全国の地区または地方支部総会への参加を実施中。(39カ所)

活動実績内容・今後の活動予定

- 校友会における活動組織
- 総務委員会： 中埜豊
 - 企画委員会： 松浦弦三郎
(平本公男)
 - 支部委員会： 高橋禎夫
(丸山収)
- 9/15「東京都市大学校友会のあり方」検討会参加

組織管理部会 活動計画		
部会の分掌事項	<ul style="list-style-type: none"> ・緑土会活性化に向けての組織活動 ・各部会よりの資料を基に名簿の更新活動 ・総会、幹事会の開催主体、参加要請、資料作成等 	
部会メンバー	部会長：平本公男 部員：松尾史朗、山本純、増田博之、二村健太、安済信吾 相場淳司、萩原秀司、松本辰男	
2018年度の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容	実施予定
学生支援部会との連携	学生支援会参加者の拡大を図る (リクルーター及び有志者)	学生支援部会への参加 受付等への応援
幹事交代	各部会への働きかけを行い、また 丸山、伊藤両先生との調整を行う	今後年度毎の見直しを行う
名簿更新	総会、学生支援会参加者の名刺を 基に名簿整理を行う	名刺による名簿更新、追加を行う 交友会アドレスとの調整を行う
2018年度の活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・第1回部会開催 5月11日(金) 世紀東急工業会議室 6名参加 議題 ①年間スケジュールの確認 ②学生支援部会との連携 ③部会交通費支給に関する件 ④その他 ・第2回部会開催 11月初旬予定 議題 ①総会受付等の役割分担について ②名簿等更新の現状について 		

HP 部会 活動計画

部会の分掌事項	緑土会のホームページに大学からの情報等を編集し「りよくど」に掲載（1か月に1回）
部会メンバー	部会長：黒沼 良彰 部員：小田嶋裕・木村充男・佐藤貢一・宮澤竹久・横田弘一・小口慎吾・渡辺康之・永尾浩一・久保井公彦・川里麻莉子・森浜哲志

2018年度の活動計画

活動項目	活動の目的・実施内容	実施予定
「りよくど」の編集・発行・更新	①東京都市大学にブランド力向上のため、大学・OB等からの情報(行事・活動等)を編集し「りよくど」に掲載 ②対象者は本校 OB・在校生・本校に関心を持つ一般人	原則として毎月 新規の講演会等のトピクス等があれば適宜更新
緑土会メンバーへの記事・OB会等活動・報文等の執筆依頼 行事等の参加報告	OB会参加者への執筆依頼 緑土会主催の行事等の活動報告	執筆して貰った原稿、行事等参加報告等を編集し「りよくど」に掲載
その他	① 2017年度はOB活動報告・報文等の執筆依頼等が思うように出来ず、掲載する記事等を集めるのに苦労した。 ② HPの載せる活動報文等を大学側から提供してもらえるとありがたい(例えば「研究室からの活動報告」「研究室で行っている研究を一般人が判るよう記載した概要版」等)。	

2018年度の活動

「りよくど No25 (2018年4月号)」	2018/5/7	発行
「りよくど No26 (2018年5月号)」	2018/6/5	発行
「りよくど No27 (2018年6月号)」	2018/7/6	発行
「りよくど No28 (2018年7月号)」	2018/8/15	発行
「りよくど No29 (2018年8月号)」	2018/9/6	発行
「りよくど No30 (2018年9月号)」	2018/10/3	発行

別添 「2017年度 広報・HP部会 開催一覧表(参考)」のとおり
 今期開催するが欠席者多数のため会長 副会長での打ち合わせが多数。

学生支援・セミナー部会 (H30) 活動計画

委員会の分掌事項	④ 毎年春に学生支援活動の一環として「学生支援会」を開催する ⑤ 大学主催のリクルーター会議に出席し支援と「緑土会」をアピールする ⑥ 学生の資質向上を目的に緑土会として大学への支援を行う 等
委員	部会長：勝田博敏 副部会長：谷田孝二、武田大輔、顧問：丸山信、高橋禎夫、部員：市毛一宏、山崎晃弘、大木唯嘉、鈴木一功、杉山純、雨笠泰伸、天田拓、茅野秀徳、小縄桜子（太字は変更箇所 14名）

H30年度の活動計画および実績

活動項目	活動の目的・実施内容	実績
学生支援会	実社会への支援を目的に緑土会主体で、大学と協同開催	5/16 世田谷キャンパスにて 86名の参加により、「インターシップの勧め」をテーマに開催。（別添②報告参照）

今後の活動予定（中期的な活動方針）

○学生支援会について

- 来年度（平成 31 年度）の「学生支援会」の開催は授業の一環として開催の予定
- 時期は平成 31 年 5 月頃とするが、大学側の授業の日程に合わせる
- 平成 31 年 3 月の幹事会での日程決定後にインターシップの事例紹介者を募集したが期間が短く希望者が集まらなかった。結果、部会員による事例紹介となったので来年は幹事会での決定前に希望者を募集する予定
- 学生支援会は事前準備、案内、当日対応等労力が必要なので部員を 3 名追加
- 平成 31 年 4 月に新入生を対象とした現場見学会の依頼あり（現在検討中）
- 平成 31 年 2 月に部会を開催予定



講師：皆川 勝 教授

(東京都市大学客副学長，緑土会会長)

演題：東京都市大学の教育改革

皆川勝先生 プロフィール

武蔵工業大学大学院修了後，母校に勤務される。現在は CALS/EC から国土交通省・産官学 CIM を含む BIM/CIM まで、社会基盤情報に関する調査研究活動に参画。社会基盤情報とマネジメントにまたがる研究を推進されている。学内では，教育担当副学長として，教育改革事業を推進されている。

懇親会 式次第

司会 伊藤和也 (H10)

一、緑土会々長挨拶

皆川勝 (S54)

一、来賓ご挨拶

東京都市大学校友会会長

原口 兼正 (通信 S49) 殿

一、乾杯

ご出席の最年長会員

ご歓談

一、学科近況報告

都市工学科主任教授

丸山 收 (S58)

一、校歌斉唱

一、閉会の挨拶

黒沼 良彰(S53)

以上

卒業年	氏名	卒業年	氏名
S31	小玉克己	H03	田中剛
S41	船越靖彦	H04	永尾浩一
S42	太田義和	H07	山本淳
S44	宮寄義昭	H10	伊藤和也
S44	中埜豊	H13	横溝真沙樹
S46	豊田哲也	H13	柏崎悠太
S46	野田孝男	H13	小松勇喜
S47	篠原久彰	H21	二村健太
S52	谷田孝二	H28	上村健太郎
S52	岡村和之		
S53	平本公男		
S53	黒沼良彰		
S53	薄井光男		
S54	高田真人		
S55	小原丈二		
S56	石川義信		
S57	河本健		
S57	松尾史朗		
S58	渋沢 重彦		
S58	萩原秀司		
S58	丸山收		
S59	三浦聡		
S59	大木唯嘉		
S59	相場淳司		
S59	勝田博敏		
S61	目黒公郎		
S62	松本辰男		

ご招待者名簿

東京都市大学校友会 会長

原口 兼正 殿

都市工学科 教職員

吉田 郁政 教授 (災害軽減・吉田研究室)

白旗 弘実 教授 (構造安全・白旗研究室)

今井 龍一 准教授 (計画マネジメント・今井研究室)

五艘 隆志 准教授 (計画マネジメント・五艘研究室)

三上 貴仁 准教授 (水圏環境・三上研究室)

都市工学科 教職員（卒業生以外は特別会員）

皆川	勝	教授	(計画マネジメント・皆川研究室)	副学長
吉田	郁政	教授	(災害軽減・吉田研究室)	大学院教務委員長
長岡	裕	教授	(水圏環境・長岡研究室)	H30 年度就職担当
丸山	收	教授	(構造安全・丸山研究室)	学科主任・H31 年度就職担当
末政	直晃	教授	(地盤環境・末政研究室)	大学院専攻主任
白旗	弘実	教授	(構造安全・白旗研究室)	学生部副部長
中村	隆司	准教授	(計画マネジメント・中村研究室)	情報基盤センタ委員
栗原	哲彦	准教授	(災害軽減・栗原研究室)	教育改善委員会主査
五艘	隆志	准教授	(計画マネジメント・五艘研究室)	教務委員
伊藤	和也	准教授	(地盤環境・伊藤研究室)	図書館委員
今井	龍一	准教授	(計画マネジメント・今井研究室)	学生部委員
三上	貴仁	准教授	(水圏環境工学・三上研究室)	教室幹事
関屋	英彦	准教授	(災害軽減・関屋研究室)	(米国留学中)
田中	剛	技士	(地盤環境)	

以 上

武蔵工業大学校歌

校歌制定委員会 編詩

梶山 三郎 作曲

ふよう たかね
芙蓉の高嶺仰ぎみて 科学の真理極めんと いきを はな めぐ
功績の精華は回りきて

多摩の流れの水清き 技を練り技を磨きつつ 白亜は蒼く苔むせど

世紀の園に咲き出づる 共にいそしむ蛍雪の 星霧永久に限りなき
武蔵工大その名こそ 武蔵工大その名こそ 武蔵工大その名こそ

智の泉なり光なれ 自治と自由の象徴なれ 我が青春の故郷なれ

武蔵高等工業学校校歌 武蔵工業専門学校校歌

大江素天 作詞

草川空雄 作曲

丘陵 環り伏し 新興日本の 工業日本の 玲瓏魂は
多摩の流れの澄むところ 若き姿は 輝けり 進む彼方に 神秘あり 強く正しく 鍛へたり
武蔵高工 誇り建つ 燃ゆる希望に智と技を 光る力に その扉 重き使命に 心身を
讃へんいざや 我等 磨かん我等 ともに 開かんいざや 我等 ささげん我等 ともに
いざや 我等 我等 ともに いざや 我等 我等 ともに

武蔵高等工科学学校校歌

相馬御風 作詞

山田耕作 作曲

世界に輝く大東京の 静かに更け行く夜天の下に 仰げば東空雲紫に
文化と自然の綾なすほとり 自ら省み世の態おもう 燦たる希望の日ぞ今昇る
玲瓏塵なきあしたの空に われらが胸には燃え立つ抱負 日に日に栄行くわれらが母校
自治こそひらめけ吾が三色旗 公正自由の精神を生命 日に日にさやけきわれらが理想
われらが目ざすは創造一路 邁進やまざる吾等が肩に いざいざわが友意気高らかに
凜たる学徒の雄姿を見よや 使命は大なり行手は遙か 前人未拓の道開かばや

東京都市大学校歌は、武蔵高等工科学学校校歌を復活したものです。

都市工学科 (JABEE 認定プログラム)

「本学の伝統および都市工学の使命に基づく、本学科の学習・教育目標」

- 1) 地球人としてのヒトの理解, 人間社会活動とヒトとの関係の幅広い理解を高め, 地球的視点から, 多面的に物事を考える能力とその素養を身につける。
- 2) 「公正, 自由, 自治」という東京都市大学の建学の精神を理解する。また, 都市工学技術者としての社会的使命を理解するとともに, 技術が社会や自然に及ぼす効果, 技術者が社会に負っている責任, すなわち技術者倫理について理解する。
- 3) 都市の刷新・再生, 都市環境の改善・創造を進め, 地域の特色を踏まえた安全で快適な都市の構築と持続的維持の中核を担う技術者としての, 素養を習得する。
- 4) 数学, 物理学などの工学的基礎とそれを応用できる能力を習得する。
- 5) 高度情報化社会に対応できるようにコンピュータと情報処理の知識と技術を習得する。
- 6) 都市工学の基礎となる力学を応用できる能力を習得する。
- 7) 都市施設の設計と構築に関する基礎を習得する。
- 8) 都市のデザイン, 環境, 防災に関する基礎知識を習得する。
- 9) 実験, 実習, 演習, ゼミナールなどの体験的な学習を通じて, 実験の適切な実施, データの正確な解析, 考察の能力とともに, 主体的に取り組み, 創造し, 問題を解決する能力を習得する。
- 10) 社会の動向に鋭敏な感覚を養い, 自主的に課題を探究し, 専門知識, 技術を総合して解決するエンジニアリングデザイン能力を習得する。
- 11) プレゼンテーション能力, 語学力を十分に修得し, コミュニケーションのための基礎能力を高める。
- 12) 社会の要請に応じた事業を計画し, 実施管理し, 説明責任を果たすといった実務上の問題を理解し対応する基礎能力を習得する。
- 13) 制約のある中で計画的に対処し成果をまとめ, 実社会に進んでからも吸収力, 応用力のある心身堅固な技術者の素養を習得する。

H30年度 都市工学科の近況ご報告

学科主任：丸山收

1. 引き続き土木技術検定試験で全国1位の合格者数を達成！

都市工学科および都市工学専攻では、昨年度の土木技術検定試験で87名の合格者が出ました（本学科調べ）。土木技術検定試験は、土木工学に関する基礎的な知識を問う検定試験であり、公益社団法人土木学会が実施しているものです。

2. 第53回地盤工学研究発表会，多くの学会発表で学生が優秀論文発表者賞を受賞。

3. タマサート大学・デラーサール大学・台湾中央大学学生来校

さくらサイエンスプログラムで、タマサート大（タイ）4名，デラーサール大（フィリピン）5名および台湾中央大学（台湾）10名の学生が，都市工学科で研究交流を行いました。

4. 大学院総合理工学研究科社会基盤マネジメントプログラムから第一期修了生

社会人マネジメントプログラムから修士課程第一期生が修了しました

5. 学科教員関係

定年退職：吉川弘道 教授

新規採用：関屋英彦 准教授